

令和元年第7回教育委員会会議録

日 時 令和元年10月30日（水）午後2時30分 開議
場 所 尾道市教育会館2階 会議室
署名委員 村上委員

午後2時30分 開会

○佐藤教育長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから第7回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程はお手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、村上委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち、重要な項目がありましたら、順次報告をお願いいたします。

○齋藤庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課にかかわります業務報告及び行事予定について御説明させていただきます。議案集の1ページをごらんください。

まず、業務報告でございます。10月1日、市議会臨時会が開会いたしております。10月8日から10日にわたりまして決算特別委員会が開催されました。10月17日及び18日に令和元年度中国地区都市教育長会定期総会が尾道市で開催されております。10月23日、令和元年度広島県市町教育委員会教育委員研修会が広島市で開催されております。本市からは奥田委員に御出席をいただいております。

次に、行事予定でございます。11月1日、令和元年度広島県女性教育委員グループ第2回研修会が尾道市で開催予定です。本市からは豊田委員、木曾委員の両名が参加予定でございます。11月29日、教育委員会定例会を予定しております。また、同日、市長の招集によります第1回総合教育会議を予定しております。以上でございます。

○末國主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。学校施設整備に関する業務報告及び行事予定について御説明をさせていただきます。2ページをごらんください。

まず、上から5段目の浦崎小学校屋内運動場屋根改修工事につきましては、9月末をもって完成をいたしました。屋根の老朽化と雨漏り等を指摘されてい

たことから、今年度対応を行ってきたものでございます。

次に、行事予定についてでございますが、一番下の段に災害復旧工事入札とございますが、これは昨年豪雨災害によって被災いたしました山波小学校、長江小学校、吉和中学校につきまして入札を行い、早期に復旧工事に着手したいと考えております。以上でございます。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。3ページをごらんください。

業務報告ですが、完成記念行事を2件行っております。1つは旧生口中学校のグラウンドを一部芝生化いたしました生口市民スポーツ広場の多目的芝広場が完成しております。10月1日火曜日に因島地区と瀬戸田地区のグラウンド・ゴルフ協会の方に御協力をいただきまして、グラウンド・ゴルフの交流大会を行っております。

もう一つは10月19日土曜日に向島運動公園のテニスコートを4面増設いたしております。こちらの完成のお披露目会を行っております。この日は尾道高校のソフトテニス部員に打ち初めをしていただきました。

加えて、スポーツの秋ということもありまして、スポーツ講演会を2件行っております。10月5日に市民大学講座で102歳の現役ランナー、三次市にお住まいの富久正二さんをお招きして御講演をいただきました。100人の参加をいただいております。

10月19日土曜日にはホストタウン事業として、北京オリンピック銀メダリストの末續慎吾さんをお迎えして講演会を行っております。こちらは300人の参加をいただきました。

続いて、行事予定です。11月14日から25日の予定で、メキシコのソフトボール代表チームが事前合宿のため尾道市に参ります。昨年度に引き続いて2回目の来日です。オリンピックの出場を決めた選手団がナショナルチームとしての合宿は広島県内では初めてですので、温かくお迎えをしたいと思います。現在の予定としては、28人が来られるということです。向島中央小学校、日比崎小学校などとの交流行事なども行いたいと思っております。

11月17日に尾道市教育フォーラムをしまなみ交流館で行います。こちらの講師は感性リサーチ代表取締役、黒川伊保子さんの御講演を予定しております。ぜひとも御参加くださればと思っております。

続きまして、図書館について指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。4ページをごらんください。中央図書館の業務報告につきましては、10月6日に第3回文化講座を実施し、「林芙美子の生と文学」という演題で文

芸評論家の尾形明子さんにお話をいただき、30名が参加されました。10月27日には、第4回目となる文化講座を行い、「平田玉蘊と江戸時代の女性画家」という演題で、実践女子大学教授の仲町啓子さんに歴史の観点からお話をいただき、32名が参加されました。行事予定につきましては、11月3日に5回目の文化講座を行う予定としております。

続いて、5ページをお願いします。みつぎ子ども図書館の業務報告につきましては、10月4日に尾道さつき会の職場体験学習があり、施設利用者の1名、補助員スタッフ1名の御参加をいただいています。10月27日には、御調中学校・御調高等学校合同吹奏楽コンサートを実施し、149名の観覧をいただきました。行事予定につきましては、11月10日に人形劇サークル「パフ」による講演を行う予定としております。

次に、6ページをお開きください。因島図書館の業務報告につきましては、10月6日に秋の行事農業講習会「畑の作業 コツと裏ワザ」を実施し、30名の参加をいただきました。農村漁村文化協会から講師を招き、大人向けに効率のよい農作業について教えていただきました。行事予定につきましては、11月24日に「進藤義武 弦楽四重奏団クラシックコンサート」を実施いたします。こちらは因島図書館開館25周年を記念して、世界的なバイオリニストである進藤義武さんのグループによるコンサートを行うものです。また、11月26日にスマホ体験教室を実施します。NTTドコモ因島店の協力のもと、スマホを15台お借りして体験教室を開催いたします。

次に、7ページをお願いします。瀬戸田図書館の業務報告につきましては、10月20日にコンサート「昭和の名曲を一緒に歌いましょう」を実施し、合計43名の参加をいただいております。行事予定につきましては、11月14日に、講談社全国訪問おはなし隊が来館し、主に子供向けの絵本の読み聞かせを行います。

続いて、8ページをお願いいたします。向島子ども図書館の業務報告です。10月12日に大人のための朗読会を実施し、203名の参加をいただいています。行事予定につきましては、11月の展示として、「読書の秋～おすすめの本～」を実施し、職員が選ぶ新刊の絵本、また学校図書館協議会の選定する絵本50冊の紹介をする予定としております。

加えて、ここで、前回の教育委員会議の際に村上委員から御質問のあった件について御回答させていただければと思います。因島図書館の秋の音楽祭について、観客数と予算についてのお尋ねがございました。9月29日に実施いたしました秋の音楽祭の参加者は165名、予算はかかっていないということでござ

います。出演者はこのライブin図書館に出演してくださるボランティアの方ということで、謝礼なしで演奏していただいております。会場については、ホールを使用し、使用料をいただかない形で利用していただきました。以上で御報告を終わります。

○**新宅因島瀬戸田地域教育課長** 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定について御説明いたします。9ページをごらんください。

先ほど、生涯学習課からも報告がありましたが、10月1日に生口市民スポーツ広場の芝広場完成記念グラウンド・ゴルフ大会があり、その後、一般利用が開始されております。

10月7日に因島瀬戸田の4小学校の校長先生の研修会に参加し、意見交換をさせていただきました。

10月29日には、特殊建築物である校舎等の点検委託業務の入札を行いました。

今後の予定についてですが、あす、10月31日が旧土生小学校の校舎等解体撤去工事、そして、因北小学校、重井小学校の屋内運動場の非構造部材の耐震改修設計業務の期限となっており、いずれも順調に完了の見込みです。以上でございます。

○**島谷美術館長** 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定を説明いたします。10ページをお開きください。

まず、業務報告でございますが、9月7日から10月27日までに開催されました広島から発信する現代アート特別展「ここからむこうまで」展が終了いたしました。トータルで7,114名、1日あたり151名の入館者でございました。

10月12日、第16回尾道灯りまつり協賛、美術館の夜間開館をいたしました。灯りまつりを見に来られた方が約70名いましたが、そのうち約10名が入館されました。

行事予定につきましては、11月2日から「尾道市立美術館コレクション」展、新収蔵品展を中心に開催いたします。

11月4日、小林和作賞の表彰式を西國寺で行います。今年の実賞者は漫画家のかわぐちかいじ先生でございます。この賞は、今まで29名、1団体が受賞しております。

圓鏝勝三彫刻美術館並びに平山郁夫美術館については、記載のとおりでございます。以上です。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業

務報告並びに行事予定につきまして御報告いたします。11ページをごらんください。

まず、業務報告についてですが、10月2日、小中学校校長会を行いました。10月4日まで業績評価に係る校長面談を行いました。この日で全ての校長への中間面談が終了いたしました。

10月17日、統合型校務支援システム等構築・運用委託業務事業者選定委員会を行いました。今年度中の導入に向け、事業者選定等を現在進めております。

10月28日には県教育委員会、生田参与をお迎えし、第2回教育長ミーティングの学校訪問を三成小学校で行いました。授業の質を高めること、そろえる、やり切るということがもう一步のところである。発表のときの子供と先生の関係、ノートのとり方等、もっと底上げができるのではないかな等の感想をいただいております。

10月27日のサブリーダー研修会では、奥田委員さんに「サブリーダーに期待すること」と題しまして、サブリーダーに求められるものや、すぐれたリーダーのあり方等について講話をしていただきました。

続いて、行事予定についてですが、11月6日、小中学校校長会を行います。

それから、1件、追記をお願いいたします。11月7日木曜日ですが、東部教育事務所による教育長ヒアリングがございます。その他は記載のとおりでございます。以上です。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。12ページをごらんください。

初めに、業務報告です。10月9日、第2回「学びの変革」推進協議会を三幸小学校で行いました。6年生の総合的な学習の時間の授業を参観した後、各校で取り組んでいる振り返り活動の実施状況の交流や、県教育委員会の指導主事からの指導、助言をもとに主体的な学びの実現に向けて協議等を行いました。

10月3日、中学校授業力向上研修会の理科を中学校で、10月18日には国語科を長江中学校で行いました。理科は午前中に中学校授業力向上研修会において、中学校理科教育実践グループ研修のメンバーである5名の先生方で作成した指導案をもとにした授業を市内の理科の先生方に公開いたしました。午後からは、その5名の先生方で中学校理科教育実践グループ研修会を行い、授業力向上研修会において公開した授業について協議をいたしました。国語科では、古典の作品である竹取物語を扱い、作品がつくられた当時の様子を考えながら古典作品のおもしろさに触れることなどを狙いに授業を公開いたしました。専門性を生かした協議が行われ、授業改善に向けて研修を深めることができました。

た。

10月23日に中学校音楽コンクール、25日に小学校音楽コンクールを開催しました。教育委員の皆様には、お忙しい中、御出席いただきありがとうございました。どの学校も合唱のレベルが上がり、審査員の先生方からも高い評価をいただきました。小学校のグランプリ校は栗原小学校でした。優秀校は日比崎小学校、高須小学校、長江小学校、山波小学校、美木原小学校の5校が受賞いたしました。中学校のグランプリ校は美木中学校でした。優秀校は瀬戸田中学校、日比崎中学校、重井中学校の3校が受賞いたしました。また、昨年度から、グランプリや優秀校以外で審査員の先生方がすばらしい演奏をしたと認められた学校には審査員特別賞を表彰することになり、小学校は百島小学校、中学校は向東中学校が受賞いたしました。

続いて、行事予定です。11月1日から、今年度も「おのみち『心の元気』ウイーク」が始まります。全学級で道徳の授業を公開したり、保護者や地域と協力して地域貢献活動を行うなど、学校、保護者、地域がともに地域の一員であることを自覚しながら子供たちの道徳性の育成を図ることを目指して実施いたします。

11月13日、広島県国公立幼稚園・こども園連盟教育研究大会が木ノ庄東幼稚園で行われます。本市からも市内の各小学校から1名が参加し、今後の幼稚園や保育所との連携に生かしてまいります。

11月18日、広島県中学校特別活動研究大会が日比崎中学校を会場に行われます。県内各地から先生方が参加し、新しい学習指導要領を踏まえたこれからの特別活動のあり方について熱心に協議され、特別活動の充実につながることを期待しております。その他は記載のとおりです。以上です。

○佐藤教育長 ありがとうございました。ただいまの報告について、御質問、御意見があればお願いをいたします。

○村上委員 因島図書館ですけれども、10月13日に英語でおはなし会というものが行われているのですが、他の図書館では行われていません。英語教育ということ考えると非常に有意義なものと思うのですが、参加者数やどのような感じで行われているのか教えてください。もし子供がたくさん参加しているのなら、他の図書館でも行えばいいと思うのですが、どうでしょうか。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。今詳しいことがわかりませんので、どのくらい参加されているか、どなたがされているかなどを調べまして、次回に回答させてもらってもよろしいでしょうか。

○村上委員 はい。結構です。

○佐藤教育長 ほかにございますでしょうか。

○木曾委員 美術館のひろしまトリエンナーレ2020のことでお聞きしたいのですが、これは名古屋でかなり話題になりましたが、ニュースなどでも批判的な部分が報道されていました。今回、SNSなどで百島の展示内容についてかなり批判的な意見が出ているようですが、美術館へ何か抗議などはありましたか。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。今回のひろしまトリエンナーレ2020のイベントに位置づけました現代アート展でございますが、これは愛知県のトリエンナーレの表現の不自由展とは全く関係なく、広島県並びに尾道市にゆかりのある作家6名で構成しております。

ただ、新聞報道でお騒がせをしました。2件ほど、昭和天皇の写真を張っている作品がございまして、大浦氏の作品を展示しているのではないかという電話が一、二回ございましたが、全く関係ないという回答をさせていただきました。以上です。

○佐藤教育長 ほかにございますか。

○村上委員 教育指導課にお伺いしたいのですが、音楽コンクールは非常にレベルが高くてよかったです。この音楽コンクールやみなと祭の「ええじゃん」などの学校の負担ですが、それは働き方改革と絡めて、どのような対応や対策をしておられますか。学校現場の負担はかなりあるのではないかと思うのですけれども、どうなのでしょう。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。音楽コンクールのことを申し上げますと、小学校は新しい学習指導要領が導入されて、授業時間が増えており、今後、あり方については検討してほしいという御意見がありました。そのため、昨年度から小学校については、自由曲を教科書の中から選ぶことにしました。これまでは自由曲は教科書以外の難しい曲を選んでおりましたので、その分指導に時間をとられていました。また、外部からピアノの講師を選んでおり、かなり負担がありました。教科書の曲でしたら校内の先生で何とか可能という学校が大半でしたので、先生方の負担を減らすように昨年度から見直しをしております。中学校は音楽の先生がおりますので、今のままでも特に大きな負担はないと聞いております。

みなと祭も早くから、2月、3月ぐらいから練習を始め、体育の時間などの教育活動の中に計画的に取り組んでおりまして、新たな負担とならないようにしております。

○村上委員 わかりました。

○豊田委員 先ほど、音楽コンクールのことが出ましたけれども、本当に小学校

も中学校もすばらしいできだったと思います。審査員の先生も非常にレベルの高さを賞賛してくださいました。これは長く教育委員会が取り組んでこられた成果だとうれしく思いました。同時に、児童生徒の鑑賞の仕方やステージのマナーなど、今年度は全体的によかったという印象を受けております。これは音楽だけではなく、そういった行事を通して育てる力といいますか、そういうものを各学校が大事にして、今日に至っているととても強く思いました。ありがとうございました。

それから、2点目ですが、教育指導課にお聞きしたいのですけれど、指導力向上や学びの変革推進協議会、それから授業研究を伴った研修がたくさん組んであります。これは該当の先生が参加されて資質向上に努めておられるのだろうと思うのですが、回数を重ねるに従って、先生方が主体的に研修に取り組んでおられるのでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。私の感じる中では、一番それが顕著にあらわれているのは、中学校授業力向上研修会です。今年で3年目になりますけれども、かなり参加をされる中学校の各教科の先生方は主体的になられたと思います。例えば、研修を去年は2回行いましたけれども、1回目は指導案検討を行い、それを自分の授業でも行ったり、導入時にタブレットを使ったりするなど、ICT機器の活用等の工夫も見られるようになっております。回数を重ねてよい授業を提案していただいていることもありますが、先生方の授業に学ぶ主体的な姿勢というものが見えてきつつあると捉えております。

○**豊田委員** ありがとうございました。

○**佐藤教育長** ほかにございますか。

○**奥田委員** 学校経営企画課にお尋ねします。11ページの中で、第1回統合型公務支援システム等構築の委員会が行われ、また2回目も行われるということです。以前にも少し説明をいただいたと思うのですが、今の時点で学校の中でこの公務支援システムがどのように計画され、どう実践して、どのぐらい負担軽減に通じるのか。その辺について差し支えのない範囲で聞かせていただければと思います。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。統合型公務支援システムでございますが、11月22日に業者からプレゼン等をしていただいて、決定に向けて進めてまいります。年度内の仮運用を経まして、新年度からは本格稼働を目指して、進めておりますが、この中で一番期待するところは成績関係を一元化することです。要は、普段のテスト、小学校であれば単元テスト、中学校であれば中間期末テストのデータ、またそれ以外のデータも含めて一元管理する

中で、通知表や指導要録をそれぞれつくるのではなくて、1回入力すればデータが全部生かれます。それから、児童生徒の出欠管理や先生方の入退校記録は、今、それぞれ管理していますが、1つのシステムで全て管理していくことになります。

現在、先行自治体等を調べますと、大体1人当たり年間100時間の時間外勤務が縮減されているということでございます。私たちとしても現在一月当たり45時間までの時間外勤務を目指して取り組んでいるのですけれども、幾らかそれに近づき、先生方の負担が軽減されるのではないかと期待をしているところでございます。導入すれば、やはり効果をあらわしていかなければいけませんので、今後、校長先生や先生方の具体的なニーズをお聞きして、段階的に丁寧に説明をさせていただきながら使っていただけるシステムということにこだわりを持って導入してまいりたいと思っております。

○**奥田委員** お聞きすると、うまく機能すればすばらしいシステムだと思いますが、全ての尾道市内の小中学校からアクセスできて、最終管理は教育委員会が行うということになるわけです。そうすると膨大なデータが行き来するということですので、セキュリティーが一番大切です。万が一その情報が出てしまうと大変なことになるので、そのところは業者も一番考えていると思いますけれども、そのところを特に何重もの完全なセキュリティーで行っていただければと思います。よろしくお願いします。

○**村上委員** 先ほど、入校管理や退校管理という言葉があったのですが、それはICカードで管理するのでしょうか。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。まず、現在は学校に先生方が行きましたら、何時に入校した、退校したと手入力をしている学校と、ボタンで入校時刻が出るシステムを使っている学校があります。これは、県教育委員会が推奨しているもので、お金のかからないものなのですが、それは一人一人が1枚ずつのペーパーで出力されるので、集計するにはどうしても手作業になるのですけれども、新たなシステムのイメージは、パソコンに入退校管理があって、ボタンを押すとセンターサーバーにデータが行き、全てのデータ集計や平均時間など、こちらが欲しいデータがすぐに教育委員会からも見られる。そういったデータ管理ができるイメージを今持っております。

○**村上委員** わかりました。働き方改革で、長時間労働を防止するためにはICカードのほうがいいのかなと思ったので、質問させていただきました。

○**佐藤教育長** 関連して聞きます。今、学校経営企画課長が説明してくれた年間100時間の削減というのは最終形ですね。財政上のこともあるので、今後5年ぐ

らいをかけて全体のシステムを稼働していくが、今事務局はどのように計画をして、業者を募っているかいうことを、次回でいいので、委員さんに説明してください。こういうスケジュール感でこういう業務から始めるイメージを持っていますということも説明をお願いします。そうすると、よくわかると思いますので、よろしくお願いします。

○小柳学校経営企画課長 はい、わかりました。

○佐藤教育長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、前回の定例会において、村上委員から尾道市子ども科学展について質問がありました。これについて回答をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。前回の教育委員会議で御質問がありました子ども科学展について御報告させていただきます。

今年度、子ども科学展は9月7日土曜日と8日の日曜日の2日間、尾道市民センターむかいしまを会場に開催し、科学研究の作品だけでなく、サイエンスショーやおもしろ実験教室などを行いました。今年度の入場者数は1,686人で、昨年度に比べると73名の減少でした。今年度は月曜日の開催をなくして土日の2日間としたことが減少した原因ではないかと捉えております。また、来場された方にはアンケートの記入を依頼し、そのうち、164枚のアンケートの回収がございました。アンケートに書かれていた内容についてでございますが、毎年楽しみにしています、子供の励みになるので継続してほしい、展示されているいろいろな作品を見て来年度の参考にしてみたい、同じ生徒が継続した研究をしているのがすばらしい、家族に支えられながら頑張り抜いたことがよくわかる作品もあり思わず涙があふれました、サイエンスショーは親子で楽しめました、科学がもっと身近になってほしいなどの御意見もありました。また、アンケートの97%の方が来年度も参加をしてみたいと答えているなど、多くの肯定的な評価をいただきました。

しかし、おもしろ実験教室には人数オーバーで参加できなかった、子ども科学展はすばらしいのでもっとアピールしてはどうか、科学研究の提出期限が早くて十分なデータ収集ができなかったという課題に値する御意見もいただきました。毎年多くの方に御来場いただき、アンケートに御協力いただきながら、よい評価をいただいております。次年度以降も多くの方に来ていただけるよう、こうしたアンケート結果を踏まえながら、今年度の成果と課題を検証し、

理科好きな子供たちが増えるよう取り組んでまいりたいと思います。以上でございます。

○佐藤教育長 村上委員さん、よろしいですか。

○村上委員 はい。非常にいい結果といいますか、好感触だったのですが、これを例えば御調や瀬戸田で行うという考えはありますか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。たくさんの方に来ていただいたり、サイエンスショーなどは大きなホールが必要です。現在のところは向島が駐車場も広くて、来ていただきやすく、大きなホールも備えているので、当面はこのままの場所とっております。

○村上委員 わかりました。

○佐藤教育長 それでは、次に移りたいと思います。

日程第2、議案の審査に入ります。

議案第28号尾道市立図書館協議会委員の委嘱及び任命についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。議案第28号尾道市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について御説明をいたします。議案集の13ページをごらんください。

本案は尾道市立図書館協議会委員を別紙のとおり委嘱及び任命したいので、教育委員会の承認を求めるものでございます。

提案理由は、図書館協議会委員の任期が令和元年10月31日で満了することに伴い、図書館法第15条並びに尾道市立図書館協議会設置条例第2条に基づき、委員の任命及び委嘱を行うものです。図書館協議会設置条例の第2条にございますように、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館利用者並びに学識経験のある者の中から委嘱、任命をいたしております。なお、図書館協議会は図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館のサービスについて、館長に対して意見を述べる機関ということでございます。

14ページにございます名簿のとおり、11名の方を委嘱及び任命をいたしたいと思っております。11名のうちの6名が新任の方でございます。少し補足します。川上淳さんは尾道市保育連盟からの推薦をいただいております。この方は友愛福祉会の理事、友愛保育園の園長でございます。それから、「図書館利用者」はそれぞれの図書館からの推薦をいただいております。梶矢里美さんは読み聞かせグループ「あひる文庫」の代表の方、また、浜床弘枝さんは読み聞か

セグループ「ポレポレ」の方、堀純子さんは読み聞かせグループ「ルピナス」の方でございます。また、学識経験者である信木伸一さんは尾道市立大学芸術文化学部日本文学科の学科長でございます。任命をいたします椿靖さんは公立中学校長会、因北中学校の校長先生、村上みどりさんは小学校長会、久保小学校の校長先生でございます。

なお、新たな任期は令和元年11月1日から令和3年10月31日までの2年間となっております。改選後の平均年齢は58.8歳、男性が4名、女性が7名となりますので、改選後の女性比率は63.6%です。以上、御審議の上、御承認をいただきますようお願いいたします。

○佐藤教育長 ありがとうございます。今の説明ですが、14ページの一番最後の村上みどり校長を読み上げたけれども、これは再任ではなくて新任だったのですか。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。済みません、この方は再任です。

○佐藤教育長 説明する必要はなかったということですか。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。はい、そうです。

○佐藤教育長 わかりました。それでは、御意見、御質問を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、これより議案第28号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

以上で、日程第2、議案の審査を終わります。

この際、その他として、委員さんから何かあれば承りたいと思います。

○村上委員 図書館の別紙で配られたものなのですが、因島の図書館で貸出件数BMというところの8月は、今年の8月も去年の8月もほかの数字と比べて異様に低いのですが、このBMという意味と、なぜ低いのでしょうか。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。BMは移動図書館のことです。8月は学校が夏期休業中ですので、貸出件数が他の月よりも低くなっております。

○村上委員 なるほど。わかりました。

○佐藤教育長 先ほどの業務報告と行事予定で確認を忘れていたのですが、3ページと9ページの10月1日は、生口市民スポーツ広場のことを複数の課で説明

したのだけれど、これは建設までが生涯学習課で、管理は因島瀬戸田地域教育課に移りましたということで、その当日は両課が出ていた。今後は地域教育課が生口市民スポーツ広場について説明するというのでいいですか。

○新宅因島瀬戸田地域教育課長 はい。

○佐藤教育長 ありがとうございます。ほかにごありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は11月29日金曜日、午前9時30分からを予定しております。

お疲れさまでございました。

午後3時15分 閉会